

AIが予測した交通事故発生リスクのデータを公開します

DXの推進に関する包括連携協定を締結している三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社及びMS&ADインターリスク総研株式会社の3社が共同で提供する「事故発生リスクAIアセスメント」を、本年度、新たに導入しました。

今後は、市ホームページの地理情報提供システム「こうのとりのつば」へ掲載（令和6年3月）し、市民や通行者と可視化されたリスクデータを共有するとともに、提供されたデータを活用した交通安全対策を検討します。

【事故発生リスクAIアセスメントの概要】

交通事故発生箇所に加え、道路構造や走行データ、人流等、事故と相関関係の高い要因のデータを組み合わせ、AIで交通事故発生リスク値を算出し可視化するサービス。

【今後の取組】

- ①民間公共交通機関（フラワー号、路線バス、タクシー等）の事業者へ情報提供を行い、運行ルート上の危険個所の把握により、交通事故の未然防止を図ります。
- ②事故発生リスクの高い潜在危険箇所を選定し、道路管理者や警察と情報共有のうえ、必要な安全対策を講じるための協議を行います。

【実際の地図データ】

数値化した地点ごとのリスクを地図上でわかりやすく可視化



事故発生リスク：リスク(低)からリスク(高)で色調表示